

運転に気をつけて

春の交通安全運動

児童らついた餅配り啓発



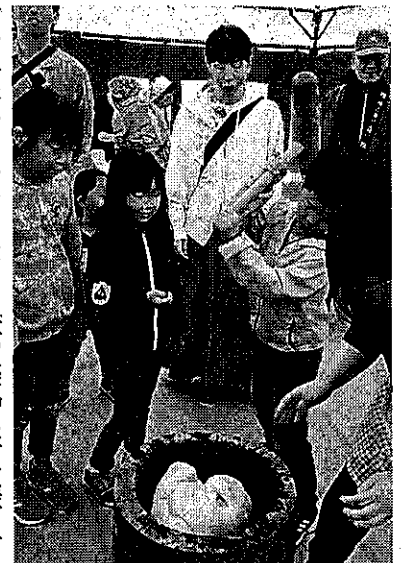
春の全国交通安全運動 函館西交通安全協会などは、**11～20日**に合わせ、**11日**、函館西署の駐車場で決起集会を開いた。児童による交通安全宣言、「事故ゼロ」を祈願した餅つき、ドライバートへの啓発活動などを展開した。

決起集会には、北星小学校内の学童保育所こぼとクラフなど11団体から約80人が参加。同小の外山陽大君(6年)、高柳涼檜さん(3年)、田島英里さん(同年)の3人が「スピードダウンに心掛け、安全運転をお願いします」と力強く交通安全宣言を行った。

主催者を代表して、函館西交通安全協会の森川基嗣会長が「交通事故は老若男女避けて通れない状況だ

旗を掲げ、ドライバートに餅などを配布して安全運転を呼び掛ける参加者

が、一件でも少なくなるよう努力していきたい」とあいさつ。函館西署の木村圭一署長が「全国的には若い児童が被害に遭う事故があり、函館では観光シーズン全盛期に入り、重大な交通事故の発生が懸念されている。交通事故のない安心で安全な町にしていきたい」と述べた。



交通安全を祈願して元気に餅をつく児童ら

集会後は、交通事故のない日が長く伸びることを願って餅つきを実施。児童らが元気に杵を振り下ろし、餅をつき上げた。その後は国道5号に移動し、「スピードダウン」と書かれた旗を掲げるとともに、餅や交通安全0にちなんだコーラ・コーラゼロをドライバートに手渡し、安全運転を呼び掛けた。(早坂直美)